

池田元久健在

衆院厚生労働委員長に就任



2011年9月30日 厚生労働委員長就任挨拶

9月2日野田新政権発足に伴う新体制で、池田元久衆議院議員は、10年6月から務めていた財務副大臣、経済産業副大臣に続いて、新たに衆議院厚生労働委員長に就任した。委員会は、生活に直結する医療、介護、年金、雇用などを担当し、問題山積の委員会と言われている。

池田委員長は「ひとびとと第一の政治」実現に努める考えだ。



2010年2月5日 予算案でデフレ克服を強調

2009年8月30日 132,192票頂いて当選



2010年11月2日 APEC-CEOサミットで挨拶



2010年2月5日 念願の相鉄・JR直通線着工



2010年11月15日 林横浜市長APEC成功御礼に訪問



2010年5月19日 宗教と民主主義研究会の会長に就任

現地対策本部長の活動から(抜粋)

【住民の一時立ち入り】

- 3/31 本部長の指示により実施計画を作成開始
- 4/15 本部に關係機関との調整を急ぐよう要請
- 5/3 トライアル
- 5/10 川内村から開始

【仮払金支払い】

- 4/7 大臣を通じて東電に、社長が福島に来てまず謝罪するよう要請
- 4/11 東電清水社長が福島を訪問。TVの前で県民に謝罪
- 4/12 東電副社長ら7人が關係市町村長を訪問。支払い事務が軌道に乗る。連休前に支払いを開始

【警戒区域・計画的避難区域の設定等】

- 4/17 警戒区域の設定について慎重に進めるべきと具申。市町村長への指示の発出者を中央の本部長(菅総理)に

【公益立ち入り】

- 4/22 本部長指示により立ち入り許可の判断のポイントを作成
- 5/6 野馬追い用の馬の園外への移動について立ち入り認める

【防犯対策と行方不明者捜索】

- 4/9 国家公安委員長に空き巣などの防犯体制強化を要請
- 4/27 自衛隊に20km圏内の行方不明者の捜索の早期開始を依頼

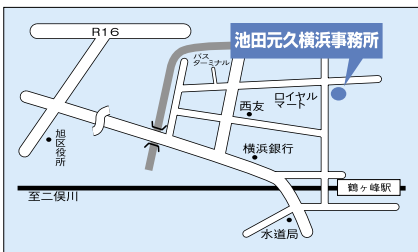
「本部長の後任決めずに不在にしたのは残念」

池田副大臣 一時入院

池田副大臣は5月の連休中も休まずに現地対策本部を指揮していたが、連休明けから体調不良を少し感じ、かかりつけ医に相談した結果、5月21日、本部(大臣)が了解の上都内の病院に4日間検査入院をした。

その結果「ストレス性胃炎」と診断され、退院後2週間自宅で療養をした。

池田副大臣は入院前再三にわたり、海江田大臣に対し現地対策本部長の後任を決めるよう求めたが、海江田大臣は後任を決めようとしなかった。このため、5月31日午前衆議院震災復興特別委員会で現地対策本部長の不在が明るみに出た。午後の審議の前、菅総理大臣は池田副大臣に電話で「田島政務官を現地対策本部長に任命する。池田副大臣はそのまま。」と伝えてきた。池田副大臣は当時「私自身が体調不良で任務を続けられなかったことは申し訳ない。しかし、政府の一員として現地対策本部長の後任を決めずに不在にしておいたのは、批判されてもやむをえない。福島県民のために責任を果たそうと努力してきた私としては、無断で職務を離れたかのような誤解を生んだとすれば極めて残念だ」と述べ、6月17日の参議院復興特別委員会でも同じ趣旨の発言をした。



■横浜事務所 変二多 www.m-ikeda.com
〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-30 相鉄鶴ヶ峰駅徒歩1分
TEL (045) 371-1000 FAX (045) 374-0100

ポスター
ご自宅やお店、ご近所に貼ることを承諾して頂ける方、ご連絡を頂ければ幸いです。

池田元久と21世紀の会
サポーターの集りです。役に立つ会、楽しい行事を予定しています。

通常号定価 1部100円(消費税込み) 年間購読料 3,000円(送料含む)
平成9年4月25日 第三種郵便物認可

民主
PRESS MINSHU

2011/12 冬号(号外)
(第1・第3金曜日発行)

民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp